

平成24年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校5年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きですか」の問いに対して肯定割合が77%であり、市の平均と同程度である。教科ごとにその教科が好きかを問う設問では、教科によってばらつきがあり、個人差も大きかった。より学習意欲を喚起する工夫が必要である。
- ・ 平日の家庭での学習時間は、1時間くらいが最も多かった。休日は30分くらいが多く、全体的に見てやや少ない。家庭学習が定着しているとは言えず、より充実させるために宿題の量を増やすことや自主学習の奨励を図っていきたい。学習の内容については「授業で習ったことをその日のうちに復習している」割合が高いものの、「その日のめあてを決めて学習している」割合は低い。学習への意識を高める支援が必要である。
- ・ 授業への取り組みについては、すべての項目で肯定割合が8割から9割程度で市の平均よりも高い。中でも「学習して、おもしろい、楽しいと思うことがある」は、全員が肯定している。学習に対する気持ちや態度については、「学習していて、いろいろなことが分かったり、できるようになったりすることはうれしい」「自分の力をできるだけ伸ばしたい」は、全員の児童が思っており、児童の前向きな気持ちを生かした指導と支援を進めていきたい。
- ・ 生活については、あいさつ、ルールやマナーを守ることににおいては、市の平均より上回った。学校生活への満足については、肯定割合が95%以上であり、よい傾向にある。
- ・ 読書については、平日、休日とも3時間以上読む児童がいる一方、ほとんど読まない児童も平日2割、休日3割程度いる。よく読む児童のよさを伝えて、読まない児童にも読書の楽しさを伝えられるよう指導を工夫していききたい。
- ・ 「1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか」という問いに「1時間くらい」の子が平日3割弱で一番多いが、休日ともなると1時間以上の子が約7割を超える。「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか」の問いに、ほとんどしない児童が多いが、平日も「2時間半」という児童がいる。健康面からも問題があると思われる。家庭と連携して指導をしていきたい。
- ・ 起きる時間は6時から6時半、寝る時間は9時から10時、毎日朝食をとっているなど生活習慣は、ほとんどの児童は問題ない。
- ・ 携帯電話の所有率は、宇都宮市の平均を下回っている。家庭でのルールを決め、フィルタリングをしている家庭が多いが、不十分な家庭もあるので、指導をしていく必要がある。